

西脇 幸太 (Kota NISHIWAKI)

学位：修士（学術）

略歴：名古屋大学大学院国際開発研究科国際コミュニケーション専攻博士前期課程修了

専門分野：英語学、英語教育

研究課題：1. 現代英語の語法文法研究

2. 学習英文法研究

【著書】

- ・「他動詞 eat の目的語省略」、『英語のエッセンス』現代英語談話会（編）、山口美知代、山本晃司、北原賢一、滝沢直宏、西脇幸太、堀江淳之助、山崎のぞみ、吉田悦子、石井昌子、魚住香子、菊池繁夫、田淵博文、都築雅子、豊田昌倫、松井信義（緒）（大阪教育図書、pp. 51-61、2019年12月）

【論文】

- ・“-ly Adverbs Frequently Occurring with *N after N*: With Special Reference to *Until (...)* *Finally/Eventually*.”（『現代英語談話会論集』第15号、pp. 41-60、現代英語談話会、2020年3月）
- ・「英語の授業における単元の入り口と出口での ICT 活用」（『愛知文教大学教育研究』第10号、pp. 9-18、愛知文教大学教職課程研究センター、2020年2月）
- ・「The truth is, S.における the の脱落」（『英語語法文法研究』第26号、pp. 159-175、英語語法文法学会、2019年12月）
- ・「学習英文法研究の中核：教育現場からの提案」（『立命館言語文化研究』31巻2号、pp. 13-26、立命館大学国際言語文化研究所、2019年10月）
- ・「目的語の省略について：Eat と Devour を中心に」（*JELS* 31, pp. 109-115、日本英語学会、2014年2月）
- ・「英語の知識を活かした実践的な指導のあり方」（『山口大学教育学部研究論叢』第63巻第1部、pp. 191-202、西脇幸太・高山寛之・松谷緑著、山口大学教育学部、2014年1月）
- ・「動詞 eat の完結性」（『英語語法文法研究』第20号、pp. 166-181、英語語法文法学会、2013年12月）
- ・「動詞 Eat の Missing Object — 中核的な解釈と周位的な解釈 —」（『英語語法文法研究』第18号、pp. 110-124、英語語法文法学会、2011年12月）
- ・「Missing Object の認可に関わる優先性規則 — Eat とその下位レベルの動詞の比較分析を通して —」（『英語語法文法研究』第17号、pp. 132-147、英語語法文法学会、2010年12月）
- ・「動詞不変化詞結合と無目的語現象」（『英語語法文法研究』第15号、pp. 124-138、英語語法文法学会、2008年12月）

【その他】

- ・「書評：中島平三著『「育てる」教育から「育つ」教育へ — 学校英文法から考える』大修館書店、2019、

- 160 pp.」(『英語教育』2020年3月号[第68巻13号]、p. 91、大修館書店、2020年2月)
- ・中邑光男(編集主幹)『アクシスジーニアス英和辞典』執筆・校閲協力(大修館書店、2019年12月)
 - ・「英語学／言語学・今年のベスト3」(『英語教育』2018年10月増刊号[第67巻8号]、pp. 76-77、大修館書店、2018年9月)
 - ・「読んでおきたい最近の英語学関連図書」(『英語教育』2017年11月号[第66巻9号]、pp. 16-17、大修館書店、2017年10月)
 - ・中邑光男・山岡憲史・柏野健次(編集主幹)『ジーニアス総合英語』編集協力(大修館書店、2017年10月)
 - ・「言語活動を支える英語の表現方法の効果的な指導 ― 即興の言語活動を取り入れた授業改善を通して ―」(『平成28年度英語教育海外派遣研修 研修成果報告書』、pp. 163-167、独立行政法人教員研修センター、2017年3月)
 - ・「書評：江藤裕之著『英文法のエッセンス』大修館書店、2015、240 pp.」(『英語教育』2016年1月号[第64巻11号]、p. 91、大修館書店、2015年12月)
 - ・高校英語研究会・啓林館編集部(編著) *Vision Quest English Expression I Advanced WORKBOOK* (平成26年度用)校閲(啓林館、2014年3月)
 - ・井上永幸・赤野一郎(編)『ウィズダム英和辞典』第3版 項目執筆(三省堂、2013年1月)

【主な口頭発表等】

- ・「The N is that S.と冠詞の省略：truth とその類義語を中心に」(研究発表：六甲英語学研究会2019年9月例会、於：神戸市勤労会館、2019年9月)
- ・「学習英文法研究の中核：高校現場からの提案」(招待発表：シンポジウム「学習英文法を巡って」、主催：立命館大学・国際言語文化研究所、於：立命館大学、2019年3月)
- ・「The truth is that S.の構文パターン：truth の修飾語に焦点を当てて」(研究発表：英語語法文法学会第26回大会、於：立命館大学、2018年10月)
- ・「他動詞 eat が目的語を省略すべきとき：有標形を支える原理」(研究発表：英語語法文法学会第25回大会、於：専修大学神田校舎、2017年10月)
- ・「Eat の意味：完結性に焦点を当てて」(研究発表：六甲英語学研究会2017年9月例会、於：龍谷大学大阪梅田キャンパス、2017年9月)
- ・「学習者に軸足を置いた学習英文法研究：動詞の目的語省略を例に」(研究発表：2016年度大学英語教育学会関西支部学習英文法研究会第2回例会、於：大阪市立大学文化交流センター、2016年12月)
- ・「進学校における4技能統合と大学入試対策を両立させる指導～3年間の実践を踏まえて～」(招待発表：より良い英語教育を考える会2016年6月例会、主催：京都外国語大学英語教育研究会、於：キャンパスプラザ京都6階京都外国語大学サテライト教室、2016年6月)
- ・「高校現場での英作文教育」(招待発表：英語表現および英作文教育に関するシンポジウム、主催：立命館大学言語教育情報研究科・立命館大学国際言語文化研究所、於：立命館大学衣笠キャンパス、2016

年 2 月)

- ・「動詞 eat の目的語省略：英語学と英語教育の観点から」（研究発表：2014 年度大学英語教育学会関西支部学習英文法研究会第 2 回例会、於：大阪市立大学文化交流センター、2015 年 2 月）
- ・「目的語省略に関する一考察：eat と devour に焦点を当てて」（研究発表：神戸言語学研究会 2014 年 1 月例会、於：龍谷大学大宮学舎、2014 年 1 月）
- ・「目的語の省略について：Eat と Devour を中心に」（研究発表：日本英語学会第 31 回大会、於：福岡大学、2013 年 11 月）
- ・「動詞 eat について」（招待発表：「英語学と英語教育」学校で英語を教えるということについて語ろう、主催：山口大学教育学部、於：山口大学、2013 年 8 月）
- ・「英語の暗黙項について — 英語学と英語教育の観点から —」（研究発表：大学英語教育学会関西支部第 9 次学習英文法研究会第 8 回例会、於：関西大学、2007 年 2 月）

【所属学会等】

英語語法文法学会、日本英語学会、現代英語談話会、大学英語教育学会

【社会活動等】

- ・英語語法文法学会運営委員（2020 年 4 月～）
- ・愛知県立東海南高等学校進路ガイダンス「英語による発信力を向上させるために必要なこと」（主催：愛知県立東海南高等学校、於：愛知県立東海南高等学校）（2019 年 11 月 7 日）
- ・大学英語教育学会関西支部学習英文法研究会副代表（2019 年 4 月～）
- ・平成 29 年度英語教育海外派遣研修事前研修会助言講師（主催：独立行政法人教職員支援機構、共催：文部科学省、於：独立行政法人教職員支援機構）（2017 年 5 月 8 日から 2017 年 5 月 9 日）
- ・平成 29 年度岐阜県英語教育イノベーション戦略事業高等学校英語科授業改善委員長（2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日）
- ・平成 28 年度授業改善講座高校外国語グループ 2「英語授業指導力向上講座」講師（主催：岐阜県教育委員会、於：岐阜県立岐阜北高等学校）（2016 年 11 月 15 日）
- ・各務原市立蘇原中学校出前授業「使える英語を身につけるための英語学習」（主催：各務原市立蘇原中学校、於：各務原市立蘇原中学校）（2016 年 6 月 24 日）
- ・平成 28 年度初任者研修校外研修示範授業講師（主催：岐阜県教育委員会、於：岐阜県立岐阜北高等学校）（2016 年 5 月 17 日）
- ・岐阜県英語教育イノベーション戦略事業＜高校外国語科＞英語教育改善推進執行副委員長（授業改善部門長）（2016 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日）
- ・各務原市立蘇原中学校出前授業「使える英語を身につけるための英語学習」（主催：各務原市立蘇原中学校、於：各務原市立蘇原中学校）（2015 年 6 月 23 日）
- ・岐阜県英語教育イノベーション戦略事業＜高校外国語科＞グローバル人材育成を目指した高校英語教

育改善研究委員（2014年9月1日～2016年3月31日）